

令和7年度 学校だより



りんごの里から 10月号

青森県立弘前第一養護学校 令和7年10月16日発行 教務主任 葛西 由佳子

地域とつながろう!弘一養SDGsプロジェクト

近年、四季の移り変わるスピードが今までとは異なってきていることを肌で感じるようになりました。また、今年の夏の最高気温の平均は沖縄県が最も低いという驚くようなニュースが流れたり、熱中症アラートが出される日が増えたりする中、毎年のように災害も起こり、気候変動をさらに身近に感じている方も多いと思います。

大きく変わる環境の中で、こどもたちとともに、自分たちにできることを考え、実践していくために、本校では、令和5年度より3か年計画で「学びをつなげ、深め、生かす児童生徒の育成～SDGsの視点を取り入れた授業づくりを通して～」をテーマとして校内研究に取り組んでいます。「まずはやってみよう!」の1年目から始まった校内研究ですが、学習を積み上げてきたことで、こどもたち一人一人の思いや考えが、視線や表情、言葉や行動等に表れるようになり、植物に進んで水やりをする姿、地域のことを知ろうと調べたり体験したりする姿、学習したことを製品作りに生かす姿等が見られるようになりました。

小学部低学年
「花を育てよう」

中学部2年
「花いっぱい運動」

高等部
「もったいないを活用しよう」



また、これらの本校の活動が評価され、青森県の3R推進・循環型社会を目指す「もったいない・あおり県民運動」の「もったいない・あおり賞」を令和5・6年度2年連続で受賞しています。
※今年度もエントリーしています。

昨年度、本校代表として高等部生徒が授賞式に参加してきました



令和6年度もったいない・あおり賞 表彰式 令和6年11月15日 於 青森県庁

このテーマでの校内研究は、今年度で終了となりますが、引き続き、「〇〇を大切にしよう」「もったいないを減らそう」「自分たちにできることからやってみよう」という気持ちを育んでいきたいと思っています。

